慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	初期のアメリカ勞働階級史に於ける二大事件
Sub Title	
Author	園, 乾治(Sono, Kenji)
Publisher	三田史学会
Publication year	1936
Jtitle	史学 Vol.15, No.2 (1936. 7) ,p.83(251)- 128(296)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19360700-0083

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

初期のアメリカ労働階級史に於ける二大事件

園　乾治

目次

一、緒　言
二、一八七七年の鐵道ストライキ
三、ヘイマーケット事件

一、緒　言

（一）

アメリカ労働階級史に於ける重要なる労働爭議として次の一〇事件が擧げられる。

一八七七年の鐵道ストライキ

一八八七年のヘイマーケット事件

一八九二年のホームステッドに於けるロックアウト

一八九四年のプルマン工場に於けるストライキ
一九〇二年無煙炭坑に於ける爭ストライキ
一九一二年のローレンスに於けるストライキ
一九一三年に於けるコロラド炭坑のストライキ
一九一九年の製鋼業のストライキ
一九二九年の南部織物業のストライキ
一九三四年のサン・フランシスコに於ける總ストライキ

是等の事件は過去六十年間に發生したもので、基礎的產業たる石炭・製鋼・交通・纖維工業に起つたもので、此處に是等の事件を取扱ふに就てはその顚末を明かにするよりも、原因を尋ねその戰術・戰略を知ることを目的とする。從つて勞資雙方に於て工夫せられ利用せられたる產業鬪爭に於ける武器・政府の役割・一般社會の態度に重點を置くのである。又各種の思想と實踐の發達・勞働團結に關する諸問題・產業上の諸問題・勞資間の鬪爭に於ける一般的傾向をも明かにせんとするのである。

勞働者の武器はストライキ・ピケッティング・ボイコット・サボタージュ・團體的抗議と示威運動等その種類は多くないが、その組織及び範圍には時代によつて變化がある。而してその變化は大部分斯くの如き武器の力を益々理解するに至りたること・その利用に關する知識が增加したることにあり、又一

部は資本家の態度に對應するために變化し、政府又は一般社會の壓迫干渉に對應する爲めに變化したのである。斯の如くして一八七七年の鐵道ストライキの如く突發的な連絡の無い且つ混沌たる爭議があり、一九一二年のローレンスに於ける纖維勞働者のストライキの如く訓練せられ强固に組織せられたるストライキがある。又一九一三年南部コロラド州の石炭業に於ける坑夫の地方的な孤立的な抗議の形態を採るものがあり、一九一九年の製鋼勞働者のアメリカ全土に汎る反抗がある。また勞働爭議は一八九四年プルマン工場に於ける鐵道勞働者のストライキの如く同情又は後援の象徵であるものがあり、政治犯の釋放を要求する一九一二年のストライキの如き事件があり、一九三四年のサンフランシスコに於ける攻勢を保つ傭主團體に對する大衆の防衞のストライキがある。

資本家の勞働階級を支配する方法も發展した。例へばロックアウト、武力の利用、ストライキ破壞者の移入等の如き手段があり、この外スパイ及びブラックリストの利用の如き手段がある。加之、福利施設及び御用組合等をもつて穩和なる勞働統制の手段に供するのである。プルマン工場或は合衆國製鋼會社は福利施設によつて完全に勞働者を支配する權利を得、又御用組合の組織が同樣の目的にあることがコロラドの炭坑ストライキによつて暴露せられた。

勞働爭議の進行中に於て都市・州及び國何れの政府も不偏中正であることは極めて稀であり、屢々干渉を試みる。併しそれは契約自由及び私有財產制度に基いて政府が組織せられることを想起すれば、些

も不思議では無い。勞働者が八時間勞働又は賃銀の値上を要求する場合、政府は資本家の財産を充分利用する權利を擁護し、且つ他の勞働者の長時間低賃銀を以て勞働する自由を擁護するのである。勞働者が團結權の承認を求めてストライキをなしストライキを有效ならしめるため見張を行ふとき、政府は直に他の勞働者の組合に加入するや否やの自由を制限する。斯の如くして政府が私有財産及び契約自由の原則を擁護するためにストライキの破壞を助けて警察及び軍隊を利用するのは何等の不思議が無い。又裁判所が政府の斯かる行動を支持し、暴動その他の罪科を以て勞働者を逮捕監禁することも何等の不思議が無い。立法も亦ストライキに際し勞働者に不利益に發動する。例へばシャーマン・トラスト禁止法及び州際商業取締法の如きは一八九四年のプルマン工場のストライキの時、勞働者に禁止命令として援用せられた。

これと同樣に種々の社會的機關、例へば新聞・ラヂオ・說敎・映畫・講義等は或意味に於て保守的で、現在の經濟的及び政治的秩序を維持せんとするものであり、前述の二原則を擁護する傾向がある。その結果是等のものは勞働爭議を抑壓することを援ける。一九三四年の總ストライキに於てサン・フランシスコの新聞の首腦者會議の意識的態度にそれがあらはれ、製鋼業に於ける十二時間勞働を擁護せるニュー・イングランドの僧侶の無意識な態度にもそれを見ることが出來る。

（二）

勞働者が勞働條件及び生活條件を改善せんとする鬪爭は、相互扶助と相互防衛のために團結を組織せしめた。その多くのものは一八九三年ユージン・ヴィ・デブス(Eugene V. Debs)が組織した『アメリカ鐵道組合』(American Railway Union)の如く短命なるものが多いが、又多年存續し現在にも及び、思想並に實踐の方面に多大の影響を及ぼしたものが尠くない。鐵道勞働者の組合は始め共濟組合として組織せられたが、漸次勞働組合の團體交渉の職能に接近し、更にその後資本家と政府の統制に對し一部協調の態度を取るに至つた。これと同樣『アメカリ勞働聯合』(American Federation of Labor)の多くのものは勞資協調の思想と和解仲裁制度に贊成して居る。併し一八八六年のシカゴの無政府主義者及び『アイ・ダブルュー・ダブルュー』(I. W. W., Industrial Workers of the World)は斯の如き思想を排斥して居る。これらの二つの部類の間には極端なる衝突が見られる。一つは保守的で、他は急進的である。

勞働組合の職能に保守的・急進的の區別のある外、裁判又は思想の新らしき問題に就て相違が起る。而して或種の問題は反復して發生し而も猶解決せられないものがある。その一つは黑人の問題であり、他の一つは技工別勞働組合と産業別勞働組合の問題である。更に他の問題としては組合組織の重複の問題であつて、一九一二年『アイ・ダブルュー・ダブルュー』はローレンスに於ける全纖維工業の勞働者を組織せる『アメリカ合同纖維勞働者組合』(United Textill Workers' of America)に反對した。最近に於ては共産主義者が『全國纖維勞働者組合』(National Textile Workers' Union)と『全國海上勞働者組合』

(National Marine Workers' Nnion)の如き重複せる勞働組合を組織した。

アメリカ勞働史に於ける重要なる事件を研究するに就ては戰略・主義・態度・影響等を明らかにする筈であるが、低賃銀・長時間勞働・差別待遇・勞働强化・團體交渉の缺如等が勞働者に取りて堪へ難きことであり、勞働組合を組織し、ストライキを行ひ、これに對して傭主・政府には社會的諸機關は反對の勢力を及ぼし、これに打ち勝て勞働者が成功するか或は屈伏して壞滅するのである。事件の筋は單純である。併し勞働者は過去の歷史からその缺點を學び運動を新たにして來た。それ故に事件は單なる反復ではない。從て南北戰爭によつて合衆國が成立して間もない一八七七年の鐵道ストライキとサン・フランシスコの總ストライキとなつた一九三四年西海岸の波止場勞働者のストライキの間には非常なる懸隔が存するのである。

(三)

アメリカ勞働階級運動に就ては大正十五年以來、研究の成果を「三田學會雜誌」に發表し、既に二十編を超へた。此處に發表する論稿は是等の研究發表後特に最近入手した資料

1. Anthony Binba, The Molly Maguires, 1932.
2. Lillian Symes. and Travers Clement, Rebel America, 1934.
3. Louis Adamic, Dynamite, 1935.

4. Samuel Yellen, American Labor Struggles, 1936.

に據つてアメリカ勞働級史に於ける十大事件の中の最初の二大事件に就て新に執筆したものであるが、就中エーレンの著書に負ふところが甚大である。

二、一八七七年の鐵道ストライキ

(一)

一八六〇年代の末期はアメリカに於ける黄金時代の始であつた。富を獲得せんとする熱誠によつてあらゆるアメリカの生活は刺戟を受けた。それによつて適者生存といふ哲學が生れたのである。併しこれは實踐に於ては恕し難い利己乃ち殘忍にして非社會的なものとなるのである。それは明かに産業に於て最も多いが、金融的及び産業的巨人の不純なる動機及び活動に依てその多くは明白を缺いて居る。併し鋭い觀察眼を有する者は、公衆道德の墮落・資本合同の罪惡等を見逃さない。富源を支配する資本家の間に激烈なる鬪爭が行はれ、彼等の競爭意識は年と共に昂上する。有らゆる方面に於て彼等は懸命の鬪爭をなし、適者生存を決定してゐる。若し彼等が鬪爭は雙方の破滅を來す事を知る時には、彼等は第三者と鬪ふ爲に結合する。資本家が階級として完全に一致するのはたゞ對勞働者の問題に就てのみに過ぎない。勞働市場に於ては勞働者は何れも相互に競爭してゐる。階級連帶は不可能である。

若干の勞働階級の指導者及び改革者は、彼等が傭主の支配から解放せられる或種の計畫を樹てる。併し一般にその業態は渾沌として甚だ理解し難い。八時間勞働がオーストラリヤに一八六〇年代に行はれたのを見て、アメリカの勞働組合運動は同國に於て八時間勞働の要求を取上げた。決議が多數通過し、各種の委員會が組織せられ、聯邦議會に於て此法案が提出せられ、ストライキが敢行せられた。併し乍ら無組織の移民が如何なる仕事をも引受け、賃銀及び勞働時間は傭主の自由意思を以て決定し得るので、之を崩壞せしむるのは甚だ容易である。嘗てニュー・ヨークに於ける一八七二年のストライキに於て有名な勝利が得られた。之には十萬の勞働者が關係し、建築業と機械業に八時間勞働制度が採用せられた。併し此の勝利もたゞ一時に過ぎなかつた。一八七三年の恐慌が數ケ月にして襲來し、其の影響が全國に亙り、未曾有の危機がアメリカ勞働階級の上に落ち懸つたのである。

餘りに急速に鐵道・港灣・工場が建設せられ、多額の資本が之に投下せられたが、それからあがる收益は甚だ少かつた。重要なる銀行の失敗に依て經濟機構は調整を失ひ、アメリカの資本家は一大危機に陷つた。勞働階級は勿論直ちにその影響を受け、多數の失業者を生じ、賃銀が切下げられた。之に對して長期の絕望的なストライキが發生したが、何れも失敗に終つた。或場合にはストライキに續いてロックアウトが起り、多數の勞働者は如何なる條件を以てしても就業する事が不可能であつた。勞働運動の指導者は排斥せられ、勞働者は組合費を支拂ふことが出來ないで、勞働組合の崩壞が相次いだ。ニュー・

ヨーク市のみに於ても四萬五千の組合員は僅に五千に激減した。之と同様な勞働者に對する打擊は其他の大都市に於ても見られた。

失業者の大會が開かれた。併しかくの如き集會の公告は、一般民衆が團結して生命財産に危害を及ぼすに至るであらうとの心配を起さしめた。例へば一八七四年一月ニュー・ヨーク市に於て貧窮者の指導者が十三日に市街を行進しトルキンス廣場に集合する許可を警察署から得たが、前日に至つて突然之を取消された。併し當日多數の老幼男女が廣場に集まり、市街に溢れ出たので、騎馬巡査が彼等を追驅け、文字通り阿鼻叫喚の修羅場を出現した。政府の報告にも一八七七年の始めに「歴史始まつて以來現在程貧困者の增加せることは無い。ニュー・ヨークは缺乏だらけであり、勞働者は市街を行進し、公然と救濟を要求して居る。斯の如き窮迫の狀態は東部に限られない。シカゴにも多數の者が一錢の錢をも有せず、寢食の場所をも有せず、街路を彷徨してゐる」と述べてゐる。斯の如き時代に於てボルチモアー・オハイオー鐵道のストライキが企てられたのであつた。

(二)

一八七七年の鐵道に於けるストライキは、それによつて全國的勞働運動が開始せられた劃期的事件であつた。これより以前に於ても勞働爭議は珍しくはなかつた。併しそれは一地方に限られたものであつた。その以前に於ては全國的爭議は未曾有であり、流血の慘事によつて漸く鎭靜したるが如き事件は全

く存在しなかつた。この時は數州の兵力を以てしては不足で聯邦州の軍隊が始めて召集せられ、勞働者の間に百名以上、死者數百名の重傷者を出したのであつた。

此ストライキは始め賃銀の切下に對する抗議に基くが、その眞因は一八七三年の恐慌に原因する不況に在る。南北戰爭に刺戟せられ商工業が繁榮し、企業熱が高まり一八六九年には最初の横斷鐵道が開道し、諸都市に工場が建設せられ、移入民が奬勵せられ、人口が急激に增加した。斯の如き事情に於て企業が著しく投機的であり、賭博的性質を有し、正貨準備を有せざる紙幣が流通し、不健全な狀態にあつた。而して避け難き打擊が襲來した時、多くの失業者が投げ出され貧窮の極に陷つた。就業せる者も甚しく賃銀を切下げられ、賃銀は殆んど半減の狀態であつた。一八七七年には景氣の恢復が豫想せられたが、その事實は無く、鐵道業に於ては引續き相當の賃銀の切下が行はれた。『ペンシルベニヤ鐵道』に於ては六月一日より十パーセントの切下が實行せられ、他の多くの鐵道に於ても七月一日から同樣の切下が行はれることになつた。

この報知を得た勞働者は失望の深淵に陷り、これに抗議を申出でたが、彼等の委員は解雇せられ、勞働組合は解散させられた。鐵道業者は恐らく勞働者が失業を慮つて平靜であらうと考へた。併し彼等は農民及び勞働者も反感を有する事實を看過した。農民は鐵道運賃の高きに苦しみ、彼等の間に一八六七年以來全國的團體を組織し、八十萬の勞働者がこれに參加し、鐵道に對して明に敵意を示して居た。勞

働者は既に賃銀の切下と失業とに苦んで居たが、最大多數の勞働者の傭主として鐵道を極端に憎んで居た。動産銀行事件やその他の不正行爲があつた外に、株式會社に於て不當に過大の評價をなし、蛸配當をなすことが一般に行はれた。極端なる場合には九分の七に達する過大評價をなし、これに對し「正當にして合理的な」配當と稱するものを要求したことがある。一八七七年に於てニュー・ヨーク・セントラル・ハドソン川鐵道は八千九百二十五萬七千四百五十ドルに評價せられ、その中五千萬ドル以上はバンダービルトが自身及び家族に與へた保證貸付金であつた。不況時代に於ても鐵道は過大評價の資本に對し高率の配當を繼續した。ニュー・ヨーク・セントラル鐵道は毎年八パーセント、一八七五年に一〇パーセントの配當をなし、他の幹線鐵道に於てもこれと大體歩調を同じくした。現金の支拂は配當のみではなく、無償の株式に對する配當も行はれたので、ニュー・ヨーク・セントラル鐵道はその資本に對し十五パーセントの支拂を實際には行つたのである。

斯の如く一方に於て不當な株主配當が行はれ、他方に於ては勞働者が失業・賃銀の切下等に惱まされた事實があつた。勞働者が苦痛としたのはこれのみに止まらない。彼等は一週間の中三日乃至五日勤務の規定であるが、何時でも召集に應じ無くてはならなかつた。而して彼等の勤務は一日十五時間乃至十八時間に亙り過度の勞働を要求せられ、その上彼等の賃銀は數ヶ月後拂のものが多かつた。又エリー鐵道に於ては線路際に住宅を建て一年二十ドルから二十五ドルの地代の支拂を會社から要求せられたもの

があり、湖岸鐵道に於ては勤務地に至る乘車賃を賃銀から差引かれるものがあつた。

而も斯の如き不當の待遇に對し勞働者は微力な鐵道組合（brotherhood）以外には何等の團體組織を有しなかつた。當時存在した鐵道勞働組合は三團體で共濟的團體に過ぎず、賃銀及び勞働條件に關し團體交渉をなすが如き勞働組合の職能を有するものでは無かつた。一八六八年組織せられた『鐵道車掌組合』一八七三年組織せられた『機關車火夫・機關師組合』はストライキの際にも何等の活動をなさず、殊に前者は組合員のストライキをなすことを禁止し、ストライキ破壞者として活動した。併し一八六三年組織せられた『機關車技師組合』は活氣のある組合で、一八七七年四月の賃銀値下に對し公然と抗議し、二回のストライキを斷行した。此ストライキは何れも失敗し、その後極端なる壓迫が加へられ、四月十四日の夜半にピンカートン探偵社によつて完全に挫折せしめられた。

（三）

ペンシルベニヤ鐵道に於ける賃銀の切下が六月一日から施行せられた後、ピッバーグにある其從業員は活動的組合組織を企てた。その中心人物は青年制動手ロバート・エー・アモン（Robert A. Ammon）で『鐵道從業員組合』の最初の地方會を組織した。此組合は機關師・車掌・制動手・火夫・保線工・職工一切の鐵道勞働者を單一の組合に團結せしめるのであつて、ボルチモアー・オハイオー鐵道にも手を延ばした。此時行はれて居たストライキは六月二十七日正午解決したが、前夜來の集會に於て意見の一致

を缺き、そのために勞働組合は失敗に終つた。

間も無くボルチモアー・オハイオー鐵道にも不穩の火の手が上つた。それは七月十六日以後日給一ドル以上の者は十パーセント切下げることを發表した時であつた。他の鐵道に於ても既に同樣の切下が行はれたので、その實行に就ては何等の困難が豫期せられなかつた。然るにこれを實行する結果、一級の火夫は日給一ドル五十八セント、二級の火夫は一ドル三十五セントを受け、制動手はそれ以下を受けることになり、一週平均四日の作業で、最高五ドル乃至六ドルの週給で、これによつて家族を扶養しなければならぬといふ不滿が起つた。

七月十六日月曜、この新賃銀を實施する最初の日、會社は多數の求職者を集め、ストライキに備へた。而してボルチモアーに於て貨物列車の火夫及び制動手四十名がストライキをなしたるに對し、直に他の者を補充乘車せしめた。

然るに西バージニヤ州マーチンスブルグに於て二十五名か三十名かの火夫がストライキをなしたるに對しては、民衆の同情が集まり市長がその指導者を捕縛したが、民衆は暴力を以て彼等を釋放した。而してその翌日制動手が火夫と行動を共にし、客車は平常通り運轉したが、一切の貨物列車は停止した。そこで會社側は州知事に要求して二中隊の民兵をマーチンスブルグに派遣した。併しこれらの民兵は罷業者に同情し、彼等に發砲することを拒絶したので、知事は更に二個中隊の民兵を自ら指揮して赴かん

としたが、市民の反對に遭つてこれを中止した。而してストライキはその他の地にも波及し、總數五百名に達し、運河の船員二百名もこれに加担し、マンチンスブルグに於ては貨物列車七十列車、車輛千二百輛が貨物を積載したる儘立往生するに至つた。

會社側はこの有樣を見て他の對策を探し、大統領に電請して聯邦の軍隊の出動を促した。而してその到着を待ち、會社は七月十九日朝二列車の試運轉を行つた。罷業者はこれを見て機關師にその行動を中止せしめんとした時、軍隊が銃劍を以て追拂ひ、その指導者ディック・ゼップ(Dick Zepp)を捕縛し、列車は無事目的地に到着した。これまで罷業者は全く無組織で活動したが、その夜委員會を組織し、會社の役員と妥協案を議することゝした。併し會社は軍隊の保護の下に、十三列車を運轉し、多數のストライキ指導者が士官の出動によつて捕縛せられた。

併しオハイオー州の他の方面にもストライキが起つた。そこで會社は更に軍隊の增援を請ひ七月二十日金曜日メリーランド國民軍第五聯隊と第六聯隊の三個中隊が出動の用意をなした。其夜民衆はこれに反抗するために集まり、機關車の乘務員を追拂つたので第五聯隊は立往生の態となり、第六聯隊の三個中隊も民衆のため出發を阻止せられたが、此處では竟に市街に於て衝突を惹起し、十名內外の者が殺された。其處で市長は聯邦の軍隊の應援を求め、騎兵二個中隊、重砲兵も共に出動し、三日間騷が繼續し、二十三日に至つて、漸く武裝的平和が成就した。

爾來一週間を經過したが猶ボルチモアー・オハイオー鐵道の貨物列車は動かなかつた。併し七月二十六日州知事が妥協案を勞資兩者に提出したが、會社側はこれを峻拒し、聯邦軍隊の援助によつて益々積極的態度に出でた。その結果屢々罷業者及び同情者の群集と軍隊との間に衝突が起り、激しい鬪爭が展開し、而も漸次罷業者に不利となり、八月一日に至つて遂にストライキが休止せられるに至つた。

（四）

これよりも更に烈しい暴動がペンシルベニヤ鐵道とその從業員との間に起つた。こゝに於ても六月一日賃銀の値下が行はれ、生活困難となつたが、更にその上にそれを激發せしめる原因が加はつた。それは會社が沿線數個所に於て誠實に缺くる行爲をなしたことである。一八七三年ピッツバーグ・フォートウェイン線に於て制動手が日給一ドル五十八セントを八十五セントに切下げられ、會社は七月一日の値下は彼等に適用せざることを認めたが、七月六日に至り違約して六月一日に溯つて彼等の賃銀を七十五セントに切下げることを掲示した。これよりも更に大なる反對を受けたものは從來十七車輛一機關車より成る貨物列車を三十四車輛と二機關車を以て編成し、而も乘務員は從來通りとする案である。これは勞働の强化・危險の增加・間接の賃銀切下・制動手及び信號手の殆んど半數の失業を意味するものである。

七月十九日朝ピッツバーグに於て從業員は會社の態度に不滿を懷きストライキをなすに至つた。その

總數五百名に達し、會社は州知事に民軍の派遣を請ひ第六分團が出動したが、ピッツバーグの市民は罷業者に同情し、またこの時始めて從來眠つて居た『鐵道從業員組合』が目覺めて大集會をなし氣聲を擧げた。州知事は地方の民軍が罷業者に同情を寄せるのを見て、古くから競爭意識の強いフィラデルフィヤから軍隊を召集し、これに應じて七月二十一日正午一千名の軍隊がピッツバーグに到着し、午後三時三十分罷業者を解散せしめるためにリバティ街から二十八番街に行進し始めた時、子供が二三の小石を投じたところが、これが動機となつて忽ち民軍は群集に發砲し、二十名の死者と二十九名の重傷者を出した。この報道は忽ち全市に傳はり非常な興奮を惹起し、目拔の街路に多數の群集が集まり、殊にフィラデルフィヤの軍隊の周圍は二萬人以上の者がこれを取圍んだ。而して夜半の一時には全市が無統制な民衆の手に歸し、軍隊との間に銃火が交へられ、多數の死傷者があらはれるに至つた。その一方に於てユニオン停車場の構外にあつた貨車に放火せられ、遂に貨車五百輛、機關車百輛、停車場及びホテルの諸建物三十九棟を燒失し、總額五百萬ドルの損害を惹起した。この騷擾は火曜日まで繼續し、街路は罷業者及び義勇市民が警戒に當る有樣であつた。その結果食糧品、特に燃料、牛乳の不足を告げるに至つたが、フィラデルフィヤその他の諸都市もストライキに同情を示した。そこで州知事は大統領に聯邦の軍隊の出動を求め、銃火を以て民衆を擊退する命令が發せられた。

このピッツバーグの事件の後殆んど半月を經て州知事が各都市を巡視したが、軍隊に護衛せられ、戰

時に於けると同様の狀態であり、列車は不通で民兵の輸送は大型荷馬車による有様であつた。而もこの事態はラカワナ溪谷ウイルクスバー及びスクラントンに於て賃銀二十五パーセント値上を要求せる坑夫のストライキによつて更に複雜なるものとなつた。而してフィラデルフィヤには陸戰隊が上陸し、ジョンスタウン、レッディングに於ては民衆と軍隊との間に衝突が行はれ、ピッツバーグに於ては食糧品が缺乏するに至つたので、市長が解決に乘り出したが意の如くならず、已むを得ず罷業者に對し積極的行動を取ることゝなつた。而して七月二十八日以來その兵力を增加し、總數三千名の兵士が駐屯し、一方に於てストライキの指導者を逮捕すると共に列車を保護した。これと同様の狀態が他の都市に於ても行はれた。

（五）

ニュー・ヨーク州に於てはこれと異なる方法でストライキが行はれた。ピッツバーグのストライキの翌日の七月二十日にエリー鐵道の貨物列車の火夫・制動手・車掌がストライキをなした時、會社の幹部は一切の列車の運轉を中止して罷業者の集合を妨げた。併しそれでも地代の取立・賃銀の切下等によつて會社に對する不平が昂じ、勞働者の委員十四名が馘首せられたのを動機として、從業員を激化せしめたのである。ストライキの指導者はバーネイ・ドナウ（Barney Donahue）で、彼等は暴力を用ゐず酒場を閉鎖し、町の秩序を維持せんと力めた。このストライキに對しては二方面から攻擊が加へられた。其

一つは州知事が遠隔の地方から民軍を召集したことであり、裁判所のバーネイ・ドナウその他の指導者の捕縛であつた。七月二十三日バーネイ・ドナウは遂に檢擧せられ、保釋金を二千五百ドルと決定した。それ以來罷業者は祕密の會合を續けるに至つた。このストライキに於ては會社側が妥協案を提出し、制動手に對する賃銀切下を中止し、罷業者を解雇せざること等を條件として七月二十五日妥協が成立し、結局六日目に舊態に復したのである。

これと同時にバファローに於けるニュー・ヨーク・セントラル鐵道と湖岸鐵道に不穩の形勢があつた。罷業者は貨物列車を停止せしめ、旅客及び郵便列車はそのまゝとすることを希望したが、貨物旅客及び郵便の混合列車を編成しこれによつて罷業者を郵便法違反で罰することを會社側は考へた。然るにこの計畫は實現しなかつた。而して一切の列車の運轉休止を會社が斷行した。斯の如くしてバファローにはストライキを見るに至つた。一千六百名の民兵、正規の警官隊、千八百名の義勇兵、三百名の義勇市民が市内の警戒に任じ、而して市街に於て衝突が起り、軍隊と勞働者の間に若干の死傷者を見た。この氣運はロチェスター、シラキュースからオルバニーに至る東部諸市に傳播し、會社は遂に軍隊の出動を州知事に求めるに至つた。而して西オルバニーに於ては七月二十四日民衆大會が催され、若い制動手ジョン・ヴァン・ヘーゼン(John Van Hoesen)等が氣勢を擧げたが、鐵道の運轉を阻止し、その財産を破壞するものに十年の懲役或はこれに一千ドルの罰金を併課するといふ一八七七年五月十日の州法によつて彼

等は一擧に逮捕せられた。此事と軍隊の出動と又機械技師がストライキに參加せざること等が相重つて、數日の内に勞働者は意氣沮喪し遂に失敗した。而して會社は賃銀の切下を斷行するが、事業の好轉せる時には直に賃銀の値上をなすべきことを約して一切を解決した。

ボルチモアー・オハイオー鐵道、ペンシルベニヤ鐵道、エリー鐵道、ニュー・ヨーク・セントラル鐵道のストライキからストライキは漸次西行した。ボルチモアー市外の最初のストライキから一週間を出ざるに湖岸鐵道、ミシガン・セントラル鐵道、ピッツバーグ・フォートウエイン・シカゴ鐵道、ピッツバーグ・シンシナティ・セント・ルイス鐵道、バンダリア鐵道、オハイオー・ミシシッピイ鐵道、クリーブランド・コロンブス・シンシナティ・インディヤナ鐵道、シカゴ・アルトン・セント・ルイス鐵道、カナダ南部鐵道その他多數の小鐵道にストライキが續出した。その多くの場合ストライキを抑壓するために警官隊及び軍隊が召集せられたが、全國各地に於ける民衆は罷業者に對する同情を示して居た。而して七月二十日から殆ど毎日大統領ヘイスは軍事行動に沒頭せしめられ、七月二十五日に中部及び西部諸州に於ける殆んどすべての鐵道が貨物列軍の運轉を中止するに至つた時、彼は聯邦國の軍隊を以て騷擾の行はれる地域全體に、戒嚴令を布く意思のあることを示し、且つペンシルベニヤ鐵道をしてすべての幹線鐵道に對して案内狀を出し、ニュー・ヨークに會合して鐵道勞働組合に對抗して團結をなし、組合に參加せるものは一定日後に於ては一切使傭せざることを議することゝした。

(六)

ストライキの流行が西部に移ると共に、それは他の産業にも傳播し、多くの地に於て總ストライキの形を取るに至つた。斯の如き事態がシカゴにあらはれた。七月二十四日ミシガン・セントラル鐵道の貨物集散所にストライキが行はれたがこれは他の貨物集散所に傳播し、次で各種の工場に及び總ストライキに近きものとなつた。それ故に當時のニュー・ヨーク・タイムズはこの事件の見出しに「市は共産主義者の手に歸す」と掲げて居る。この翌日警察は罷業者を棍棒及び小銃を以て攻撃し指導者を捕縛したが、それにも拘らずストライキは擴がり、市街鐵道は休止し、船員も休業し、シカゴ・バーリントン・クインシー鐵道の機關庫は八千名の群集に取圍まれ、十名の死傷者を出して漸く解散せしめた程であつた。それ故に取引所は大統領と州知事に對し軍隊の出動を促がし、當時アメリカ・インド人と對戰中であつたシェリダン將軍がシカゴに急遽派遣せられることゝなつた。

一八七六年七月組織せられた『アメリカ勞働黨』(Workingmens' Party of America)を構成する『シカゴ勞働黨』(Workingmens' Party of Chicago)はストライキ運動の支配權を得るために執行委員會を組織し、この運動には市民の同情があること勞働者は殘らず罷業者と行動を共にすべきこと、總ての工場は閉鎖せらるべきことを主張した布告を發し、且つ罷業者は暴動を戒むべきことを主張した。

七月二十六日一萬の群集がハルステッド高架鐵道に集まり、兵士も武裝せる警官のために十二名の死

者を生じ、百名以上の指導者の檢束を見るに至つた。この時シカゴに集められた防備は第二十二正規兵隊の六個中隊、第九正規步兵隊の全部、州民兵二職隊、砲兵一中隊、騎兵數中隊、五百名の特派兵、五百名の豫備兵及び正規の警官隊の外に多數の愛國團體の加入者があつた。加之、毎日アメリカ・インド人の戰線から聯邦の軍隊が送還せられ、市内に進軍した。

これと相前後してそれよりも完全なる卽ち殆ど革命的性質を有するストライキが勞働黨の指導の下にセント・ルイスに於て行はれた。その執行委員は、罷業者に對し完全なる勝利か敗北か以外にその中間のものは存在しないと宣言し、罷業者の代表があらゆる工場を訪問し、勞働者のストライキを促がし、その結果多くの工場は彼等の要求を承認した。ガス工場に於ては日給二十五セントの切下げを中止し、桶職工は個數賃銀九セントを十二セントに引上げることが出來、又民衆大會に於て八時間勞働の要求、ストライキ鎭壓のために軍隊を派遣せる大統領の問責が行はれた。これに對して市長はストライキの鎭壓せられるまで一切の商店を閉鎖せしめ、義勇市民を募集し、武裝するために寄附金の募集を行つた。併しこの委員會はストライキの革命的傾向を過大に評價し、七月二十七・八日には市及び附近の諸州及び大統領等の聯合の兵に對峙して全く孤立せることを見出した。而してこの革命的團結は僅に五日にして破壞せられたのである。

七月中旬から二週間に亙る各地のストライキは殆んどすべて勞働者の敗北に終つた。併しアメリカに

於て未曾有の總ストライキの運動がこの時に起り、勞働者が地方團體としてにあらずして、全國的大衆として傭主に挑戰するに至つた事實は、當時の社會組織を支持する者を驚かすに足るものがあつた。而して新聞はストライキの指導者に迅速に過酷なる刑罰を加ふべきを主張したるのみならず、兵力を强大にし且つ有能ならしむべきことを主張し、州民兵が罷業者に發砲することを拒否し、信賴するに足らざることが認められ、民兵の組織を改善すること、正規兵を增加すること等が當時の新聞にあらはれた。

これと同時に傭主はすべての勞働者の團結卽ち共濟的・政治的・若くは勞組合的職能の何れのものに對しても攻擊をなすに至つた。ストライキ破壞者として活動した『鐵道車掌組合』(Brotherhood of Railway condnctors)も當局の反對に苦まねばならなかつた。一八七七年秋の年次大會に於て、この組合が何等有害の目的を有せざることを鐵道會社の幹部に了解せしむることは容易でなかつた。斯の如して多くの勞働者は何れの勞働者の組合にも參加せざることを誓約せざるを得なかつた。勞働組合の加入者及び指導者がブラックリストに載せられ、過酷なる取扱を受けたのは云ふまでもない。加之、裁判所は勞働者の結社に對して、騷擾罪の原則を適用し、その活動を阻止せられたのである。

鐵道に於けるストライキは何れも失敗に終つた。併しその效果は決して無視することは出來ない。勞働階級の團結の必要が痛切に感じられた。彼等の失敗は團結の缺如せることゝ各部門の勞働者が一致の

行動を取ることを拒絶した點にある。これを自覺した結果、鐵道關係の組合はその共濟的職能に加へるに團體交渉の職能を以てするに至つた。而して重要なる都市には各種の勞働組合が組織せられ、無産政黨も多數の黨員を獲得し、政治運動を活潑に開始したのであつた。

三、ヘイマーケット事件

（一）

一八八六年五月四日シカゴのヘイマーケット廣場附近に於て爆彈のため七人の警官が殺戮せられ、六十人餘の者が負傷した事件が起つた。この事件に於ては勞働運動に於ける二つの問題が輻湊して居る。その一つは八時間勞働の要求であり、他の一つは勞働者の思想並に實踐に於て修正無政府主義を取入れたことである。

勞働時間短縮の運動は新しいものではない。既に一八二九年ニュー・ヨーク州に於て、勞働時間短縮法の要求が勞働者の大會にあらはれたことがあり、その後北部の重要都市及び工業の中心地に『八時間勞働大聯盟』(Grand Eighthour League)が組織せられた。併し南北戰爭後に至るまでこの要求は活潑ではなかつた。それにも拘らず十九州及び一屬領於て、一八八六年勞働時間の制限が行はれて居たが、それは契約によつて無視することが出來たので有名無實であり、その結果平均勞働時間は十四時間乃至十

八時間であつた。

斯の如く法律によつて勞働時間を短縮することが出來なかつたが、八時間勞働の要求は鞏固なる勞働者の團結を以て强制するにあらざれば成就し得ざる革命的運動であつた。而して當時の新聞はこれに極端なる攻擊を加へた。一八七七年の鐵道ストライキの後、勞働組合の存續せるものは熟練勞働者の組織せるもので、日和見的のものに過ぎなかつた。然るに一八八〇年代の初期に於て急激に機械の利用が普及し、不熟練及び半熟練職工の數が非常に增加したが、彼等は組合を有せずその交涉力が劣つて居た。そのために賃銀は低下し、勞働時間は延長せられた。それは卸賣業者の間に激烈な競爭が行はれたゝめに、價格は低落したのが一つの原因であるが、更に地方から都市に人口が移動したると、移入民の急激に增加せると、無償の公有地が缺亡したゝめに、勞働豫備軍が橫溢せることが一つの原因であつた。これらの原因に加へるに、主要產業の製造業者の新たに組織せる團體に直面して、勞働者は永久に賃銀制度の下に閉ぢ込められる外なかつたのである。

この當時廣き範圍に汎る勞働組合が存在しなかつたのではない。『ナイツ・オブ・レーバー』（Noble Orden of the Knights of Labor）は一八六九年祕密結社として組織せられ、一八八一年公然の團體となつた。この組合は職業別に關らずあらゆる職工を歡迎し、特に不熟練・半熟練職工を加入せしめたが、その指導者は勞働時間短縮の要求の如き革命的なるものを取り擧げることを喜ばなかつた。而してそれ

は『アメリカ勞働聯合』(American Federation of Labor) の前身である『諸業職工勞働組合聯合』(Federation of Organized Trades and Labor Unions) が全國的八時間勞働運動の指導者となつた。この組合は一八八四年十月七日のシカゴの大會に於て、一八八六年五月一日以後八時間勞働を法定勞働時間となすべきことを決議した。併し充分なる準備を有せず、ストライキの資金を蒐集することを怠り、又教育宣傳をもなさなかつたので、成功することが出來なかつた。

この決議に對しては全國の勞働者から熱烈な反響が起つた。勞働時間の短縮は失業者に職業を與へ、勞働者は餘暇を得て教育及び娯樂に費すことが出來ると考へられた。而して一八八四年から一八八五年にわたる不況によつて階級連帶の感情が高まり、既に多數を擁する團體であつた『ナイツ・オブ・レーバー』に無組織の大衆が加入し、一八八五年七月には百八十九の地方支部、十萬四千の加入者を有したのが、翌年七月には一躍して五千八百九十の地方支部、七十萬三千の加入者に膨脹した。斯の如き膨脹は一八八六年一月以後生じたのであるが、勞働組合に反感を有せる工場に對する戰鬪的ボイコットと、グールド系の三鐵道會社に對するストライキとが成功したことに主として原因する。

八時間勞働運動が熾んになるにつれて、『ナイツ・オブ・レーバー』の指導者はこれを抑壓し、身を退かんと試み、カソリックの教會はこの團體に信者が參加することを非難し、新聞も亦八時間勞働の要求に驚き、その產業に及ぼす影響を考へて非難を浴せた。一八八五年の總會に於て『ナイツ・オブ・レーバー』

はこの運動を抑壓することを企てたのみならず、翌年三月には會長パウダーリーが祕密の回狀を發行して八時間勞働に反對した。その回狀には次の如く述べて居る。

「何れの地方組合も本部の指令に服從すると云ふ印象の下に五月一日の八時間制度を要求してストライキをしてはならぬ。斯の如き指令はこれまで發せられたることは無く、將來に於ても發せられないであらう。傭主及び勞働者は何れも勞働時間の短縮を必要とするよう教育せられて居ない。若しも産業の一部門又は一地方組合が斯の如き事情にあるとすれば、この運動に全く關知せざる多數の者のあることを記憶すべきである。合衆國及びカナダの六十萬の住民中、我等組合の加入者は三百萬である。我等は五月一日以前に全住民の感情を勞働時間短縮に贊成せしめ得るであらうか。これを考へるのは無意味である。先づ我等は勞働時間を短縮しなくてはならぬ理由を知り、然る後これを他に敎ふべきである。」

斯の如き回狀が後に一般會員に知れ、これが爲に多數の組合員を犧牲としたのである。多數の勞働者はニュー・ヨーク、フィラデルフィヤ、シカゴ、ルイスビル、セント・ルイス、ミルウォーキー、ボルチモアーに於て爭議に加担し、五月一日尠くとも十九萬の勞働者が現にストライキをなし、十五萬の者がストライキを企てゝ、勞働時間短縮を圖つた。

（二）

一八七三年の恐慌は全國的にして自覺せる勞働運動を起さしめたので記憶せられるが、同時に實際的現實的社會主義の誕生を以て記憶せられる。この時から社會主義者は理想主義者として將來を期待するよりも、饑餓行進・失業者示威運動・ストライキ・民衆大會・選擧運動等によつて今日の活動をなすに至つた。その第一着手として彼等は一八七六年組織せられた『合衆國勞働黨』として、一八七七年の鐵道ストライキに於て相當の活動をなし、その成功せざりし後に於て組織を改造し、主要目的を政治運動に置き、傍ら勞働組合と友誼的關係を維持する『社會主義勞働黨』(Socialist Labor Party)を組織した。而してこの新しい政黨の全國執行委員會は八時間勞働法・騷擾法の廢止・鐵道及び電信の聯邦政府買上の決議を、立法部に提出するために、民衆大會を開催する指令を發した。

併し乍らアメリカの社會主義運動は『第一インターナショナル』に起つた分裂を反映し、政策の問題に就て二派に岐れ、インターナショナリスト派は社會革命に對する準備に贊成し、ラッサール派はこれに反して教育政治團體及び立法運動によつて新社會を建設せんとした。

而して間もなく後者が『社會主義勞働黨』の政策を支配し、勞働組合運動及び革命的分子の堅壘であるシカゴに於ても政治運動に傾いた。併し間もなく勞働階級の戰鬪的團體に攻擊が加へられ、更に一八七七年七月の指物工のストライキに於て政治的保護が要求せられた。それ故に一切の戰鬪的團體を否認する『社會主義勞働黨』の執行委員の態度は、シカゴの革命派によつて反感を受けた。この感情は一八

八〇年の選擧に於て一層烈しくなつた。穩和派が『グリーンバック黨』と妥協したのを革命派は非難し、シカゴに於ける唯一の社會主義參事會員が策動によつて議席に就くことを拒絶せられた事件があり、革命派は政治運動の無意義なることを指摘し、一八七八年ドイツに於ける社會主義鎭壓によつて、多數の移入者を得て革命派は愈々勢力を加へたのである。

革命派はヨハン・モスト（Johann Most）がアメリカに居住するまで實際的運動に着手しなかつた。モストはバクーニンの一味であつて、其思想に於ては純粹の無政府主義者であるが、實踐に於ては個人の敎會及び國家に對する直接行動の手段を推賞した。彼は「革命的戰爭科學」（Science of Revolntionary Warfare. Manual for Instruction in Use Nae and Preparation of Nitro-Glycerine and Dynamite, Gun Cotton, Fulminating Mercury, Bombs, Fuse, Poisons, etc.）と題するパンフレットを發行し、小銃隊の組織を主張し、他のパンフレット「財產の獸性」（Beast of Property）に於ては、現在の社會には妥協はあり得ない、財產の獸性が完全に破壞せられるまで、殘忍なる戰爭があるのみと述べて居る。

元來ヨーロッパの無政府主義者バクーニン、クロポトキン等は多年無政府主義の宣傳と活動のよき土地としてアメリカに注意して居た。殊にバクーニンはニュー・ヨークその他の地に於ける餓餓行列のことを傳聞し、一八七四年すでにアメリカに渡船する考を懷いて居た。併しヨーロッパに於ける事件と彼の健康が許さなかつたので、遂にこのことなくして止んだ。而して一八七七年夏數州に戰鬪が開始せら

れた報を得て、非常に感動し、クロポトキンはそれに就て長文の批評を述べて居る。彼はアメリカの無産階級の示した革命的性質を熱心に稱讃した。次いで一八八二年ドイツの無政府主義者ヨハン・モスト(Johann Most)がアメリカに到着し、バクーニンその他の思想を宣傳した。

現在のアメリカの急進思想は一八四〇年に溯ることが出來る。この頃ヨーロッパ就中獨逸から多數の政治家が亡命してアメリカに渡航した。而して彼等の運動は思想的で穩和で浪漫的であつた。然るに一八五〇年代に至るとドイツ系アメリカ人の革命團體及び教育團體が、ニュー・ヨーク、ボルチモアー、フィラデルフィヤ、シカゴ、其他の都市に組織せられ、心の革命を起さしめんと圖つた。當時の社會主義者の大多數の思想の中には、市街戰、暴力は存在しなかつた。次で六〇年代に於ても社會主義運動は依然として理想主義的で、一部の階級に訴へず、總ての階級に對して呼び掛けて居た。勿論少數の急進主義者もあつたが、猶當時の産業狀態は多數の勞働者を抱擁し、土地が豐富であつたから、彼等は多くの注意を受けることがなかつた。然るに一八七三年の恐慌に際會するや、社會主義運動はその舊來の性質を殆んど一夜にして脱却し、同年の冬には餓餓行列が社會主義の指導者によつて組織せられ、社會主義が事實上階級運動たる性質を有するに至つた。

一八七〇年及び八〇年代に於ける最も急進的な都市はシカゴであつた。シカゴの『社會主義勞働黨』(Socialist Labor Party of Chicago)はヒリップ・ヴァン・パッテン(Philip van Patten)アルバート・パーソ

ンス（Albert Parsons）ジー・エー・シリング（G. A. Schilling）の指導の下に敢果なる活動をなした。この政黨は設立當初から極端なる分子を包括して居た。彼等はマルクス主義の思想を理解せるのみならず、ヘーゲル、クロポトキン、バクーニン、ヘルツェン、スペンサー等の著書をも讀破して居り、革命倶樂部と稱すべき祕密の會合をなした。この倶樂部は一八八一年に至つて全國大會をシカゴに於て開催し、『革命的社會黨』を組織した。斯の如き時代にヨハン・モストが現れたのであつた。

（三）

闘士モストを得て全國二十六都市の革命的・反議會的團體の代表者が一八八三年十月十四日ピッツバーグに會合して、『國際勞働者協會』の改造を圖つた。此處にも二つの黨派別があつた。ニュー・ヨーク及び東部諸都市の代表はモストを指導者として無政府主義の個人主義的戰略に贊成したが、シカゴ及び西部諸都市の代表者はアルバート・パーソンス（Albert Parsons）とオーガスト・スパイス（August Spies）の指導の下に無政府主義とサンディカリズムの混合思想を懷いて居た。而して彼等の思想は實際に於てはサンディカリズムに近かつた。彼等は勞働組合を將來の社會に於ける未完成の團體で、資本主義に對抗する戰闘の單位として承認して居る。併し勞働組合は賃銀の引上・勞働時間の短縮等の利益を與へるものとして甘んずべきではなく、資本主義の完全なる崩壞と自由社會の結成を完全に成就するまで滿足してはならぬ。資本主義との闘爭に於て政治的行動に依賴してはならぬ、又指導者に僞瞞されてはならぬ。

全幅の信頼を一般の組合員の直接行動に置くのである。現在のサンディカリズムと相異するのは、當時未だ發展しなかつた總ストライキの思想とサボタージュの思想とを缺如せる點にあつた。

大會に於ては西部の一派が壓倒的に多數であつたから、大會は勞働組合の重要性を承認し、直接行動の戰術を採つた。ハーソンスの主筆たるシカゴの新聞『警世』に公にせられたる『インターナショナル』の綱領の一部は次の如くであつた。

「現在の社會の秩序は財産所有者が財産を所有せざる者を××し、貧困者の勞力を單なる生活費を償ふだけの賃銀で買入れ、勞働の餘剰を一切××することに基礎を置くものである。……斯くして貧困者は進歩の機會を益々奪はれ、富裕者は益々××を擅にして彌々富裕となるのである。……此制度は不正である、不健全である、殘酷である。それ故にこの制度の下に於て苦惱せる者及び其の存續に對して責任を負ふことを欲せざる者はあらゆる手段と全精力を傾注して其××に努むべきである。……勞働階級は現在の制度に反抗する彼等の鬪爭にあたり自己の力に賴りてこれを成就する以外に外部から援助を望むことは出來ない。從來、如何なる特權階級も暴虐を廢したことが無い。今日の資本家も强制を以てしなくては彼等の特權と權能を廢することは無いであらう。それ故にプロレタリアのブルジョアジーに對する鬪爭は××的××的性質のものたらざるを得ないことは論ずる迄もない。また賃銀の鬪爭が終局の目的に到達し得ないことも自ら明かである。……斯の如き事情に於ては殘る改善

策は唯一××あるのみである。……團結の論爭、××の爲めの團結、これは勞働者が××から脱れんと欲するなら進むべき途である。」

シカゴに於ては永い政治的××の爲めに多數の勞働者が『インターナショナル』に加入し、この一市のみで五六千の加入者の三分の一以上を占めたのみならず、最も有能にして智謀に富める指導者パーソンス、スパイス、サムエル・フイールデン(Samuel Fielden)マイケル・シュワッブ(Michael Schwal)の如きは此處の人である。事實シカゴに於ては五種の新聞が發行せられてゐる。イギリス文『警世』(Alarm)毎月二回二千部發行、ドイツ文日刊『シカゴ勞働者新聞』(Chicagoer Arbeiter Zeitung)主筆スパイス、三千六百部發行と『炬火』(Fackel)と『先驅者』(Vorbote)ボヘミア文『ブドウクノスト』(Budoucnost)があつた。

この改革思想は迅速に勞働組合運動に浸透し、地方の『進歩的葉卷煙草工組合』(Progressive Cigar-makers Umon)は市内のあらゆる勞働組合に對し保守的『合同諸業勞働組合協議會』(Amalgamated Trades and Labor Assembly)を脱退して戰鬪的政策を有する『中央勞働組合』(Central Labor Union)を組織する爲めに召集した。この召集には四つのドイツ人の組合が之に應じ、而して主義の宣言をなした。それには土地は一切社會の世襲財産であり、總ての富は勞働の所産であり、勞資間には協調不可能であり、勞働者は盡く資本家の政黨と袂別し、勞働組合に專念すべきことが述べられた。而してこの『中央勞働

組合』は其結成の當初から『インターナショナル』の團體と交渉を保つた。併し『社會主義勞働黨』は依然『合同諸業勞働協議會』に加盟した。新しい『中央勞働組合』の發展は一年間は遲々とてゐたが、一八八五年末には十三の加盟組合を有し、加盟組合十九の『合同協議會』に接近し、一八八六年四月には二十二組合を擁して遂にこれを凌駕するに至つた。この組合は『インターナショナル』との關係を持續し、民衆大會や示威運動を行ひ、八時間勞働に贊成して有力な主張を爲した。併しその動機は『合同協議會』や『ナイツ・オブ・レーバー』と異り、それが勞働者の共同戰線及び階級鬪爭の爲めに有力なるものと看做たるによるのである。

（四）

八時間勞働運動をシカゴに於て開始したのは『八時間勞働協會』であつて、これは『合同協議會』、『社會主義勞働黨』、『ナイツ・オブ・レーバー』が結成したもので、『中央勞働組合』も熱心にこれに協力した。而して五月一日の前週の日曜日大規模の示威運動を組織した。參加人員二萬五千、パーソンス、スパイス、フィールデン、シュワッブが演說をなし愈々鬪爭の日が到來した時、『中央勞働組合』と『インターナショナル』の旗の下にシカゴに於ける八時間勞働運動の重要部分の行動かなされたのであつた。乃ちこの五月一日豫定通りシカゴに於て有力で成功の色濃かつたストライキが開始せられ、四萬の勞働者がこれに應じた。而して其數は三四日の內に六萬五千に躍進的に增加した。これは運動の全勢力では

ない。蓋し四萬五千以上の者に對してストライキを爲さざるに勞働時間が短縮せられたのであり、尙ほこの內の大部分の三萬五千は荷造勞働者であつた。この外に湖岸鐵道、ウォーバッシス鐵道、シカゴ・ミルウォーキー、セント・ポール鐵道、其他の貨物集散場に於て非組合勞働者の傭入に反對して數千の者が既にストライキを爲してゐた。

斯の如き大衆運動に對して警察署長エバーソールドは事態を豫想して當日全警官と刑事を召集して勤務に就かしめ、尙ほこの外に有名な私立探偵ピンカートンの加勢を得た。而して土曜日は無事に終り、全市の數百の工場は休止し、罷業者と其家族の大勢が街を練歩し、宛然休日の觀を呈し、行列、民衆大會が催され、ボヘミア語、ポーランド語、ドイツ語、イギリス語で演說が行はれた。この豫期せざる勢力と連帶を示すストライキに當面した商工業者はこれを擊破する爲めに團結した。四月二十七日『西部製靴業者組合』(Western Boot and Shoe Manufacturers Association)が六十名の出席百六十通の文書の回答によつてシカゴに於て結成せられた。主要なる鐵鋼精煉業者及び銅・眞鍮業者は八時間勞働の要求を拒否することを宣言し、主要なる延展工場は五月一日午前協議して罷業者を告訴することを決議し、夕刻に至つてこれに木材工場、木箱業、伐材業者が參加し勞働者と妥協せざることに意見が一致した。

併し五月三日、月曜日ストライキが擴大したことが頻りに傳へられ、木材人夫が木材取引所近くの川止をなし、三百の木材運送船がこれに參加する氣配が見へたので、當時好意氣であつた建築業は頓かに

沈衰し、金屬精煉業、貨物集散地も休止し、ストライキを擊破するには積極的行動を必要とするに至つた。月曜の午後マコーミック農具工場に於て重大問題が起つた。紛爭は由來する所が古い。それはサイラス・マコーミック（Cyrus McCormick）がその工場に於て以前ストライキに參加した職工の或る者に對して會社が加へた差別待遇を撤廢する勞働者の要求に對して千四百の勞働者をロックアウトした時に始まる。爾來二ケ月ストライキ破壞者・ピンカートン探偵社・警官が是等の勞働者を攻擊した。シカゴの警察當局はストライキを勞働者が法律及び秩序の破壞を爲したる證據であると看做して勞働者階級に反感を示してゐた。併し此月曜の午後に至つて警察の激昂は愈々增加したのであつた。五月三日、マコーミック工場の北四分の一哩にあるブラックロード附近に於て六千の木材人夫が彼等の傭主に派遣すべき委員を任命する爲めに集會した。アウグスト・スパイスが演說を爲して居る時約二百名の勞働者が突然マコーミック工場に殺到し、歸途に就かんとするストライキ破壞者を攻擊した。十分か十五分の中にその現場には二百名の警官が現はれた。此時スパイスは尙演說中であつたが、巡羅車を見、銃聲を聞いたのでマコーミック工場に向つて行進し、其處で警官と出會つた。警官は棍棒と小銃を用ひて逃げる勞働者に攻擊を加へ、四名の死者と多數の負傷者を出した。之を見たスパイスは『勞働者新聞』（Arbeiter-Zeitung）の印刷工場に驅付けイギリス文とドイツ文とで布告を發行した。それは「復讐、勞働者諸君、銃を執れ」と云ふ書出を以て、此事件を激越なる語調を以て綴つたものであつた。之に續いて第二の布告が發行せ

られたが、それは次の日の夕方問責民衆大會をランドルフ街の古いヘイマーケットに於て召集する事を告げるものであつた。

五月四日、火曜日の朝、三十五番街の附近に於て三千のストライキ勞働者の縱隊に警官が攻擊を加へてゐるのが見られた。斯の如き攻擊は午後にも繼續し、市の西南部にある十八番街とモルガン街とに於けるものの如きは特に目立つた。併し乍ら市長ハリスン（Carter H. Harison）はその日の夕刻の民衆大會を許可したので、ヘイマーケット廣場に七時半民衆が集まり始め、八時から九時迄には約三千名に達した。其處には市長ハリスンも秩序が維持せられるか否かを監察する爲めに來てゐた。此の廣場は木材置場と荷造り場の中心に位し、半丁場の處に警察署があつた。

民衆大會は頗る靜肅でスパイスはクレイン兄弟の工場の正面で車中から民衆に演說を爲した。次いでパーソンスが八時間勞働の要求に就て語つた。彼の演說は何等過激な所がなく、單に經濟問題を語るに過ぎなかつた。次でフィールデンが立つたのであるが、十時頃に至り雨が落ち始め、頭上が暗黑となり雷鳴を伴ひ、ミシガン湖から强風が襲ひ始めたので、民衆は解散しかけた。而して此時スパイスとパーソンスは既に退場し、たゞフィイールデンのみが去り行かざる數百の人に演說をする爲めに殘つて居た。ハリスン市長は集合が平穩である事を見、既に萬事終了したと信じて、十時少し過ぎた頃近所の警察署に事故無かりしことを報告して歸宅した。

然るに市長が去りたる後數分にして監察官ジョン・ボンフィールド（Inspector John Bonfield）が百七十六名の警官を引率して集會の名殘を一掃することとした。此ボンフィールドは極端に殘虐で全市の嫌はれ者であつた。警官は演說者の車から僅かの距離の所に止まり、隊長ワードは會衆に解散を命じた。之に對してフィールデンは集會が平穩であることを絶叫し、部長ワードが彼の部下に更に命令を發しやうとした時、車の少し南の步道の一地點から爆彈が投せられ、警官隊の中央で爆發し六十六名の負傷者を出し、その中七名は遂に死亡するに至つた。此爲めに突然警官は狂氣の如く發砲し幾回も民衆を襲擊し、數名の死者と二百名の負傷者を出した。近隣は恐怖に襲はれ、醫者は呼起され、藥店は負傷者の應接に忙殺された。

（五）

何人が爆彈犯人であるか不明であるが、三つの場合が考へられる。第一はボンフィールド及び警官の殘虐に對する復讐として何人かゞ爆彈を投じたと考へることである。第二は煽動者が偶然の機會を逸しないで行つたこと、此當時シカゴの警察當局はこれと同樣の計畫を有してゐた。第三にマイケル・シュワッブの義兄弟で無政府主義者であるルドルフ・シュナウベルト（Rudolph Schnaubelt）が下手人であることが尤もらしい（シュワッブはシュナウベルトの妹リングの夫である）。彼は二度逮捕せられたが二度共無事に釋放せられた。それは無政府主義者とその後援者を凡て逮捕監禁した時であつたが、彼等は他

の八人の重要なる革命運動の指導者を罪する爲めに何でも彼でも彼を必要としたのであつた。ヂィリー判事は此事件の裁判の後、七年を經た時シュナウベルトが殆んど犯人に近いといふ意見を述べて居る。

新聞はシカゴのみならず到る處に於て狼狽し總ての破壞的傾向のある人物を卽時處刑すべしと主張してゐる。而して數日を出でずしてシカゴの主要なる無政府主義者と革命運動家スパイス・フィールデン、シュワッブ、アドルフ・フィッシャー、ジョージ・エンゲル、ルイス・リング、オスカー・ニーペ及び『勞働者新聞』の工場の印刷工二十五名を含む他の多くの人々が逮捕せられた。唯一人洩れたのはパーソンスで警官は如何に搜索しても、遂に彼を捕へる事が出來なかつた。而してマチアス・ゼー・デーガン（Mathias J.Degan）といふ警官の死が傳へられると新聞は大陪審をして迅速に告訴せしむべきことを要求し、一般民衆に恐怖の感を數週間懷かしめた。當時の新聞はあらゆる過激なる言葉をつらねてこの事件に關する報道をなし、スパイスやフィールデンが煽動して殺戮を行はしめたる下等な民衆はアメリカ人ではないと論じ、或は正義は逮捕せられる無政府主義者を卽時處斷すべきことを要求する等の主張が見られた。

一般民衆を興奮せしめて置くことが警察の主なる任務であつた。監察官ボンフィールド及び部長シャークは特にこのことを努力したのであつた。三年後警察長官エパーソールドの告白にもそれが明に見られる。『勞働者新聞』の購讀者名簿を警察が手に入れ、屢々檢擧が行はれ、集會所・印刷所及び私宅に搜

索が行はれ、毎日、新聞にその狀況が報道せられた。或時ハヨハン・モストがニュー・ヨークから次の暴虐を行ふために到着するといふ噂が擴がり、警察もこれに對する手配を行ふ等、檢擧に對して適當なる雰圍氣を釀成することを努めた。

大陪審が五月中旬開催せられた時五月四日のデーガンの虐殺に對し、『インターナシヨナル』の重要人物であるアウグスト・スパイス（August Spies）、マイケル・シュワッブ（Michael Schwab）、サムエル・フィールデン（Samuel Fielden）、アルバート・アール・パーソンス（Albert R. Parsons）、アドルフ・フイッシャー（Adolph Fischer）、ジョージ・エンゲル（George Engel）、ルイス・リング（Louis Lingg）、オスカー・ニーベ（Oscar Neebe）が何れも有罪の宣告を受け、六月二十一日ジョセフ・イー・ゲイリー（Joseph E. Gary）を裁判長としジュリアス・エス・グリンネル（Julius S. Grinnell）を檢事として刑事裁判所に於て陪審が開始せられた。（此のゲイリー判事は『合衆國製鋼會社』の主腦者として有名なゲイリー判事（Judge Elbert H. Gary）と混同してはならぬ）而して愈々豫備調査が開始せられた時、六週間警察の搜査網を逃れて居たパーソンスが裁判所に自ら出頭して仲間と共に陪審を受けた。

シカゴ市の刑事辯護人は何人もこの事件を引き受けなかつた。無政府主義者を辯護するものは彼等と同罪であり、絞刑に値することを述べた新聞があつた。併し最後に三名のものがこれに當ることゝなつた。一名はウィリアム・ピー・ブラック（Willam P. Black）と稱し、勞働者に同情を有する熱心なる公

衆の問題の研究者であり、他の一人はウィリアム・エー・フォスター(William A. Foster)と稱し、第三のものはシグマンド・ザイスラー(Sigmund Zeisler)といふ外國生れの最近辯護士を開業した人であつた。彼等を救助する委員會が組織せられたが、資金は一ドルから五ドルまでの小額で急速には集まらなかつた。

豫てのこの事件に於ては公正なる取調が行はれ難き事情が當初から存在した。第一はゲイリーが八名のもの全部に對し共同の訊問を行ひたること、第二は陪審官の候補者の選拔と使命が普通の方法と異なり特定の代理人によつて行はれたことによるのである。斯くの如くして陪審官としては甚だ不適當な公然と僻見を示し得る人々が選任せられたのであつた。檢事グリンネルが事實を述べたる後、爆彈を投下したる犯人を陪審官が作りだすべきことを演說した。而して二名の自稱無政府主義者にすべての警察署を爆破する計畫を立證せしめんとしたが、この證人の調が失敗に歸すると今度はギルマーと稱する一人の證人があらはれ、彼はスパイス・シュワッブ、シュナウベルトの間に爆彈の樣なものが手渡しせられたのを見たこと、而してシュナウベルトがこれを警官の中に投じたのを見たことを證言した。又數名の警官は演說者の車の蔭からフィールデンが彼等を狙擊したことを立證しようと努めた。併し乍ら事實に於て其日は濃霧があつたので、爆彈投下の犯人を發見することは到底不可能であり、騷擾の責任者は何人であるかは到底判明するものではなかつた。

八名の者に對する取調は間も無く彼等の思想に對して行はれ、判事ゲイリーは無政府主義者の一般的原理がすべての資本家を破壞するといふ見地から特定の騷擾事件を作り上げる樣に追求した。陪審官は『勞働者新聞』、『警世』等の論說を耽讀し、警官はあらゆる爆彈を彼等の前に示し、斯くしてその欲する效果卽ち恐怖心を起さしめることが出來たのである。

八月十一日から陪審の終結をなすに至り、檢事グリンネルは「法律が試練を受けて居るのであり、無政府主義が試練を受けて居るのである。これらの人々は大陪審の推擧により選任せられ、指導者であるが故に告訴せられた。彼等は彼等に從つた多くのものと同樣に有罪である。陪審官諸君、彼等を有罪にし、例を示し絞刑に處し我等の制度我等の社會を救ふ可きである」と述べた。而して八月二十日陪審官による判決の要求がなされた。それによるとオスカー・ニーベが十五年の刑に處せられたる外、七名が絞刑を課せられることゝなつた。被告が九月に取調を更に行ふことを求めた控訴は却下せられ、處刑前にこれらのものに對し辯說の機會が與へられ、三日に亙つてそれが行はれたが、それは裁判所を超へてあらゆる地の勞働者に呼掛けたものであつた。

十月九日、判事ゲイリーが判決を下した。それは陪審官の判決と同樣であつた。併し刑の執行はイリノイ州の大審院に事件がかけられたので延期せられ、數ヶ月後にこの大審院は取調に就ては法律上缺陷が無いとは認めないが、下級裁判所の判決を至當とした。合衆國の大審院に上告しようと試みられたが

それは成功しなかつた。而してこの判決に對しては至る處の勞働團體が助命運動を起した。たゞ『ナイツ・オブ・レーバー』はパウダーリーの意見に從て斯の如き運動から離れて居たが、『アメリカ勞働聯盟』はそれに關し決議を採擇し、愈々最後の日に近づいてフィールデンとシュワッグは寛大なる處置を願ひ出で、換刑を受けんとしたが、他の者は敢然として判決に服することゝした。そこで州知事オグルスビーは前記の二名のものに終身刑を課することゝし、ニーベと三名をジョリエットの州刑務所に收容した。殘りの五名の中リングは死刑執行の前日彼の愛人が祕かに差入した雷管をくはへて爆死し、他の四名は一八八七年十一月十一日絞首臺に上つた。而して彼等の葬儀には二萬五千の勞働者が參列して盛大を極めた。

彼等の助命の爲に急進的團體及び個人が種々の努力をなした。ヨーロッパに於てもこの事件は多大の興味を惹起し、ジョージ・バーナード・ショウは請願の爲にロンドンに赴いた。その書面には多數の英國の文人の署名があり、その中オスカー・ワイルドの署名も見出される。ウィリアム・モリス（William Morris）は處刑の四日前ロバート・ブラウニングに次の書簡を送つて居る。

「私は敢て一筆啓上し、貴下に同封の請願書に署名せられんことを願ふ。これによつて何等犯罪となる行爲なきにも拘らず單なる形式的取調によつて死列の宣告を受けた七名のものゝ生命の救助をなし得るのである。……私は貴下がこの事件に注意せられたか否かを知らない。……又私はこの事件に

關する卑見を詳細に述べることも出來ない。併しこれらの人々はシカゴに於て全勞働階級のために昨年資本家との鬪爭に從事したる者で、その抱懷せる思想のために處刑せられるのであることを申し上げる場合に、私が誠實なものであることを信じて戴き度い。英國に於けるよりも、アメリカに於てはこれよりも慘虐なる鬪爭が行はれて居るのであり、金力の發展を阻止する場合、人命は顧られることが甚だ尠いのであるる私は鬪爭に於ける勝利者は彼等が捕縛したる捕虜を一年以上投獄したる後、その生命を斷つ必要のないことに同意せられることを希望する。」

ウィリアム・ディーン・ホーウェルス（William Dean Howels）は彼等に同情を寄せた。併しアメリカの急進主義者又は自由主義者例へばロバート・インガーソル（Robert Ingersoll）及びヘンリー・ジョージ（Henry George）の如きは請願書を提出することを拒絕した。

（六）

此のヘイマーケット事件は民衆の一部の激怒を買ひ、八時間勞働を要求するストライキに惡影響を及ぼした。警察の罷業者に對する壓迫は一層苛酷になり、勞働運動の指導者は勝手に逮捕せられ、五月四日以後の一週間に罷業者は續々復業し始めた。併し彼等はその地位がストライキ破壞者によつて占領せられて居るのを見出した。

勞働時間短縮の運動の屈辱的失敗はシカゴのみに限られない。合衆國の全體に於ける十九萬の罷業者

の中八萬人はそのまゝ失業し、シカゴに於ける罷業者六萬八千中復業し得たる者は僅に一萬六千に過ぎなかつた。而して全國に於ける罷業者の四萬二千は彼等の要求を貫徹することが出來、又既に述べたるが如く十五萬の勞働者はストライキをなさずして時間の短縮を贏ち得たのである。併し斯くの如き讓歩は運動の勢力が弱まると共に事業主が間も無くこれを取消した。一ヶ月を出でずして、勞働時間を短縮せられたるものゝ數は全體の三分の一に減少し、二十萬の中十三萬七千に過ぎないことゝなつた。

八時間勞働運動に對する障害は新聞に依る攻擊のみではなかつた。多くの急進的思想と實踐は勞働組合から好意を得なかつた。パウダーリーは革命的分子に對する極端なる反感を懷いて居た。

「跳梁せる社會主義者及び無政府主義者の主要なる思想はあらゆる機會に宣傳せられて居る。新しき勞働者の社會が建設せられたる時は、これらの極端なる者がその成員となり彼等の思想を推し進めるであらう。彼等はその持前の言葉と下賤な態度を以て有德な人々の間に取り入るであらう。無政府主義の穩かな語調の擁護者は彼の運動の理想を遠大ならしめるに何等の努力をしない。彼等が勞働者の無智を奔弄することは眞實である。彼等は無智の衣を取除かんとするあらゆる努力にも拘らず、それをなし得ないことも事實である。若しも人々が教育せられたならば、無政府主義も獨占も無用のものとなるであらう。」

斯の如き意見の外に新聞雜誌の攻擊が種々の方面に現はれて居る。又中正不偏であるべき科學的研究が

假面をかぶつて非難攻撃をなす場合がある。斯くの如き空氣の中に於て特赦協會が一八八九年組織せられ、ニーベ、フィールデン及びシュワッブの釋放運動をなした。併しオルグスビーの地位を襲つた州知事フォイファーはこの問題を考慮することを拒絶し、協會の運動は一八九三年ジョン・ピー・アルトゲルドが州知事になるまで時期を待たなくてはならなかつた。而して此時六萬人の署名を得た請願書が提出せられた。アルトゲルトが若しも既に彼等が七年間服務せることを理由として釋放したならば、その行爲を稱讃したであらう。然るに彼は完全なる調査をなし、法律上の不正が現に服役中の三人のみならず既に生存せざる他の五名ともなされたることを發見した。而して八名の被告に對して公正なる取調が行はれなかつたこと、又彼等と爆彈を投じたる不明の人との間に何等の關係があることを立證し得なかつたことを立證して赦免狀を認めた時、又彼が裁判所、陪審官及び新聞と警察が援助をなした興奮狀態に責任があることを示した時、彼は事實上社會を非難したのである。其故に彼が三名を赦免したことは彼に對して攻撃が加へられる結果となつた。加之、これは無政府主義者を苦める結果ともなつた。

アメリカの勞働運動に於ける急進的分子の活動はこの壓迫の時代から急速には復活しなかつた。ヘイマーケット事件の後、『インターナショナル』から勞働者が脱退したので、それは僅に知識階級の小團體に過ぎないものとなつた。無政府主義の思想は、勞働組合に思想として勢力を恢復したが、その戰術はアメリカの勞働運動に於ては重要なる地位を占めることは決して無かつた。多數の勞働者は保守的な

『アメリカ勞働聯合』に參加した。この組合は八時間勞働運動に於て活躍したこと、八名の者を釋放する決議をなしたことは、勞働者の或程度の滿足を買つたのである。併し『ナイツ・オブ・レーパー』はストライキを非難し、又釋放運動に參加することをも公式に拒絶したので、勞働者から見放されて仕舞つた。

（昭和十一年六月二十日稿）